

「日本・ベルギー友好150周年」開会式  
武藤副大臣挨拶

2016年1月19日

本日は「日本・ベルギー友好150周年」オープニング式典に出席し、御挨拶できることを大変光栄に存じます。昨年12月15日には、アハテン外務次官の御出席を得て、日本でも150周年のオープニング式典が行われ、私はその式典にも日本国外務省を代表して参加させて頂きました。本日、こうしてブリュッセルでの式典にも参加し、日本でお会いした方々にも再会することができ、大変嬉しく思います。

まずは、このオープニング式典の実現に向け尽力いただいた150周年祝賀委員会および関係者の皆様に御礼申し上げます。

皆様御存じのとおり、「日本・ベルギー友好150周年」の日本側名誉総裁は天皇陛下、ベルギー側名誉総裁はフィリップ国王陛下が務められます。これは、皇室・王室の親交、および二国間の親密な関係を象徴するものであると思います。

ベルギーと日本の交流はあらゆるレベルで非常に活発であり、政府ハイレベルでの交流については、最近では、2014年5月に安倍総理がベルギーを訪問し、昨年5月にはミッシェル首相が訪日されました。1年の間に実現した、これら首脳相互訪問は、両国の関係をさらに強化する契機となりました。これからの1年間、日本外務省としても両国の友好150周年を盛大に祝い、両国で行われる数々の文化事業を通じ、二国間関係をさらに発展させていきたいと思っております。

本日は、俳句を愛好されているファン・ロンパイ前欧州理事会議長に150周年友好大使として参加いただき、また、ベルギーにおける日本研究の大家であるヴァンドワレ教授からベルギー・日本関係史について講演いただきます。二国間関係の150周年を祝うにふさわしい、素晴らしい式典となりますことを祈念し、挨拶とさせていただきます。

(了)